

平成 29 年 1 月吉日

関係各位

極真会館坂本派大会実行委員会

第 9 回全日本空手道選手権大会型部門選抜  
2017 年度第 2 回南関東地区空手道【型】選手権大会 開催のご案内

拝啓 新春の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2017 年度第 2 回南関東地区空手道型選手権大会を開催いたします。本大会は、来年 4 月 2 日に開催される第 9 回全日本大会の選抜を兼ねております。南関東地区では、全日本大会選抜を 2 回開催致します。第 1 回選抜は 1 月 29 日に行われ、本大会は第 2 回選抜です。本大会における全日本出場権獲得者は、期日の関係で同日中に全日本大会出場の仮申込の提出をお願いいたします。その後、正式な出場申込書と出場料を現金書留で 3 月 8 日(水)必着でお送り下さい。

本大会は、選抜対象階級における上位 3 名(チーム)が出場権を獲得します。

奮ってご参加下さいます様ご案内申し上げます。

敬具

記

- 1、開 催 日 平成 29 年 3 月 5 日(日)  
12:30 マルチスタジオ A 集合 13:00 試合開始
- 2、会 場 BUMB 東京スポーツ文化会館 東京都江東区夢の島 2-1-3
- 3、ク ラ ス (詳細は大会案内参照)

【個人戦】幼年、小学生、中学生、

一般女子(中 3 以上 35 歳未満)、マスター女子(35 歳以上)、

一般男子(中 3 以上 38 歳未満)、マスター男子(38 歳以上 50 歳未満)

シニア男子(50 歳以上)、

【団体戦】3 名 1 チーム

小学生チーム(年長~小 5)、中学生チーム(小 6~中 2)

一般チーム(小 6(新中 1)~一般までの混合チームとするが、中学生のみの編成は不可)

#### 4、留意事項

①全日本選抜対象階級は個人戦の年長以上と、団体戦です。年長と小学生は初級の部も設けますが、全日本出場権獲得を目指す方は、級位に関係無く、選抜階級の方に出場して下さい。

②全日本選抜階級で 3 位以内に入賞した選手(チーム)は第 9 回全日本大会型部門の出場権を獲得します。既得権者が権利を獲得した場合、次点の選手を繰上選抜とします。

③選手受付は特に行いません。スタッフの指示に従い、コートに整列し、試合開始後は名前を呼ばれたら演武を行って下さい。呼び出しの際コートにいない選手は失格となりますのでご注意願います。

④本大会は南関東地区の大会として開催しますが、地区外選手向けとして別途 2 名の全日本代表権獲得枠を追加します。

5、主催・問合せ先 国際空手道連盟極真会館坂本派東京城南・神奈川県本部 大会事務局  
〒224-0021

神奈川県横浜市都筑区北山田 1-14-21

極真会館港北道場

Tel (045) 593-3747 Fax (045) 592-4239

<http://www.kyokushin-sakamoto.com>

以上

# 2017年 第2回 南関東地区空手道【型】選手権大会 のご案内

掲題大会を下記の通り開催いたします。奮ってご参加下さい。 極真会館坂本派 大会実行委員会 2017/1/30修正版

日時	平成29年3月5日(日) ※選手受付はありません。 12:30 マルチスタジオB集合 13:00 試合開始
会場	BUMB東京スポーツ文化会館 東京都江東区夢の島2-1-3
出場料	(個人戦) 初級①-⑧ 3,000円 上級(全日本選抜)⑨-⑳ 4,000円 (団体戦) 個人戦出場者無料 団体戦(D①-D③)のみ出場の場合1人2,000円
切日	平成29年2月10日(金) 必着
申込方法	出場料、出場申込書、出場申込総括表を団体一括で現金書留でお送り下さい。 〒224-0021 横浜市都筑区北山田1-14-21 極真会館港北道場 tel(045)593-3747

階級	No	型初級 (選抜外)	No	型上級 (全日本選抜)
年中	①	太極 I		
年長	②	太極 I	⑨	平安 II
小1	③	平安 I	⑩	平安 II
小2	④	平安 I	⑪	平安 II
小3	⑤	平安 I	⑫	平安 II
小4	⑥	平安 I	⑬	撃砕大
小5	⑦	平安 II	⑭	撃砕大
小6～中2	⑧	平安 II	⑮	撃砕小
マスター女子(35歳以上)			⑯	安三
一般女子(中3以上)			⑰	征遠鎮
シニア男子(50歳以上)			⑱	征遠鎮
マスター男子(38歳以上50歳未満)			⑲	観空
一般男子(中3以上)			⑳	観空
小学団体(年長～小5)			D①	平安 II
中学団体(小6～中2)			D②	撃砕小
一般団体(中3以上)			D③	征遠鎮

※選手受付は特に行いません。スタッフの指示に従い、コートに整列し、試合開始後は名前を呼ばれたら演武を行って下さい。呼び出しの際コートにいない選手は失格となりますのでご注意願います。

※南関東地区外の選手向けに、2名の全日本代表権枠を追加します

※全日本出場権獲得した選手は大会当日中に、全日本出場意思確認のため、所定の用紙に申込の署名を必ず行って下さい。また全日本出場申込書と出場料は翌日中に速達で大会事務局にお送り下さい。

- \* 申込書の試合階級欄には上記の番号を記入。記入間違いは失格となりますのでご注意下さい。
- \* 出場資格：所属道場・流派・会派は自由(無所属・団体名非公開参加は不可です)
- \* 試合の方法や採点基準は別紙型試合規約参照。選抜対象外階級の試合方法も規約に準じて行います。
- \* 各地区の型大会での入賞経験者、又は全日本型大会出場経験者は、選抜対象外の階級には出場できません。
- \* 参加人数の少ないクラスは、事前に連絡し統廃合することがあります。
- \* 全日本選抜階級の上位3名(チーム)の選手は、第9回全日本大会型部門の出場権を獲得します。
- \* 既得権者が今大会でも権利を獲得した場合、次点の選手を繰上選抜とします。

その他

- \* 本大会は基本的に南関東地区の大会として開催します。在住地区に選抜大会が無い方につきましては事前にご相談下さい。
- \* 一旦納入された参加費はご返却できません。中止となったクラスの出場料は返金いたします。
- \* 試合中負傷または事故が生じた場合主催者は応急処置をしますがそれ以上の責任を負いません。各自保険に加入しておいて下さい。尚、試合当日は万一に備え、健康保険証またはそのコピーを持参して下さい。
- \* 出場選手は事前に健康診断を必ず受診して下さい。(診断書の提出は不要) \*ゼッケンはありません。
- \* 何らかの理由で出場不能となった場合、必ず大会事務局までできるだけ速やかに連絡して下さい。
- \* 体育館には有料駐車場がありますが、できるだけ公共交通機関のご利用をお願い致します。
- \* 喫煙は所定の場所をお願いいたします
- \* 体育館内では他の施設利用者に迷惑がかからない様、武道家として節度ある行動をお願いいたします。

キ リ ト リ 線

## 2017年度第2回南関東地区空手道【型】選手権大会出場申込書

私儀、本大会のルール、規約に同意し、正々堂々と技を競い合うことを誓います。試合中及び施設内外での事故、負傷、盗難等があった場合の責任は一切を自身、並びに保護者が負い、主催者に異議、苦情の申し立て、損害を与えない事を確認します。

所属道場名 (支部名)			署名 未成年の場合 保護者署名	印		
名前(ふりがな)	性別	生年月日 年齢(大会当日)	学年 *2017/3現在	級・段 帯色	個人戦階級 (上表の番号記入)	団体戦階級 (上表の番号記入)
(ふりがな)	男・女	西暦 年 月 日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日	年中・年長 小・中・高 年	級 段 色		
団体戦 チーム名						
住所(〒 )	TEL ( )					
出場料	階級 ①～⑧ 3,000円	⑨～⑳ 4,000円	D①～D③ 2,000円(個人戦出場者無料)	円		

★名前欄に、ふりがなも忘れずにご記入お願いいたします。★試合階級の記入ミス等がないようお願い致します。\*締切 2/10(金) 大会事務局 必着

団体責任者様へ 各出場申込書と共に、本総括表をご提出下さいますようお願いいたします。

## 2017 年度第 2 回 南関東地区空手道【型】選手権大会

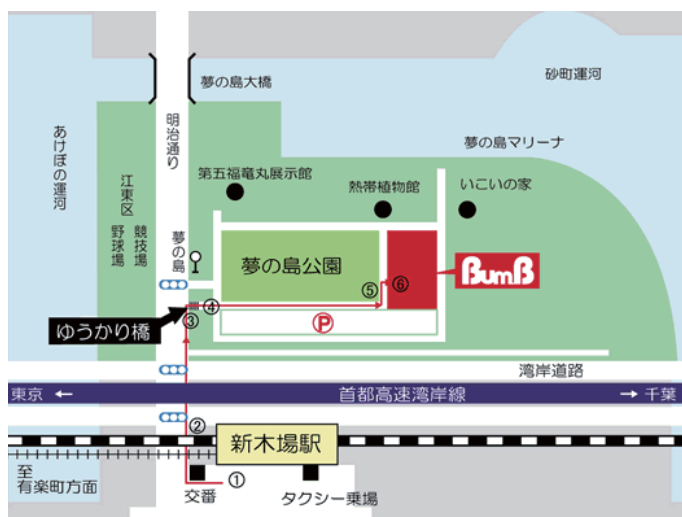
### 出場申込書 総括表

よみ方 団体名	支部名
代表者名	(印) ご担当者 (役職) (印)
書類等送付先住所 (〒 )	
TEL	FAX

(枠が足りない場合は、別紙 (任意の書式) で提出して下さい) 型団体戦チーム名	(どちらか一方を○で囲む) 階級区分	(1チーム3名) メンバー名
	小学・中学・一般	
	小学・中学・一般	
	小学・中学・一般	
	小学・中学・一般	

型個人戦 (初級) 【3,000 円】	出場料	円
型個人戦 (上級・全日本選抜) 【4,000 円】	人 出場料	円
型団体戦 (個人戦出場者) 【無料】	人 出場料	0 円
型団体戦 (団体戦のみ出場) 【2,000 円】	人 出場料	円
合計	出場料	円

キリトリ線



### BumB 東京スポーツ文化館

所在地 〒136-0081 東京都江東区夢の島2-1-3

最寄駅 JR京葉線・地下鉄有楽町線・りんかい線

「新木場」駅徒歩15分

都営バス「夢の島」バス停下車、徒歩5分

## 型試合規約（国際空手道連盟ルール・第9回全日本選抜大会用）

1. 審判基準  
2. 試合の区分  
3. 階級・型

審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は5名の審判員がどちらか一方の旗を掲げて行う。引分は無い。主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。

個人戦と団体戦を設ける。団体戦のチーム構成は3名とする。

(注1) 団体戦一般の部は、中学のみの編成を認めない。

年長	平安Ⅱ		
小1	平安Ⅱ	シニア男子(50歳以上)	征遠鎮
小2	平安Ⅱ	マスター男子(38歳以上50歳未満)	観空
小3	平安Ⅱ	一般男子(中3以上)	観空
小4	撃砕大	小学団体戦(年長～小5)	平安Ⅱ
小5	撃砕大	中学団体戦(小6～中2)	撃砕小
小6～中2	撃砕小	一般団体戦(小6(新中1)以上)	征遠鎮
マスター女子(35歳以上)	安三		
一般女子(中3以上)	征遠鎮		

### 4. 試合の方法

#### 【個人戦】

①各階級指定型を一人ずつ単独で行う。審判員の内、1～3名が

全体評価を付け、獲得ポイントを割り振る。

【全体評価点順に獲得するポイント】

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位以下
30	28	26	24	22	20	18

②他2名の審判員が基本項目評価（減点、最大で▲12ポイント）を付ける。上記獲得ポイントから基本項目の減点を引き、総合評価点を算出する。

③総合評価点の上位2名が決勝戦に進出する。

総合評価が同点の場合、全体評価による獲得ポイントが高い選手を上位とする。獲得ポイントが同点の場合、下段6【評価基準／採点方法】の③の基準により勝者を決定する。

④決勝戦は、本戦同様、各階級指定型を1人ずつ単独で行う。勝者は、下段6【評価基準／採点方法】の④の基準により、5名の審判の旗判定できまる。引き分けは無い。

#### 【団体戦】

①団体戦は各階級指定型を、チームの構成員全員が同時に演技する形式で行う。開始位置は定めないが、開始方向は正面に向かうものとする。鳴り物、音楽の使用は禁ずる。

②全体評価6項目基準で、5名(又は3名)の審判により採点する。上位2チームが決勝戦に進出する。

同点の場合、下段6【評価基準／採点方法】の③の基準により勝者を決定する。

③決勝戦は、本戦同様、各階級指定型をチームの構成員全員が同時に行う。勝者は、下段6【評価基準／採点方法】の④の基準により、5名の審判の旗判定できまる。引き分けは無い。

### 5. 着衣

選手は清潔な空手着を着用しゼッケンがある場合は背中中央に貼り付けること。袖、裾の折り返しを禁ずる。

### 6. 評価基準

#### 採点方法

①移動時の全体評価（加点法）下記5項目(団体戦は6項目)の基準で採点。但し、小学生の部は(注2)の項目の代わりに「動作の機敏性」を、女子は(注3)の代わりに「優美性・表現力」をみる。

① 身体全体を使った雄大さ	② 気迫・気合(注3)	③ 柔軟性・技の連動性	④ 下半身の安定・運足
⑤ 技の緩急・切れ(注2)	⑥ (団体戦)協調性	(小学生)動作の機敏性	(女子)優美性・表現力

※極め動作で2秒以上、(それ以外で1秒以上)経過した場合、技の順番を見失ったとみなし、「技の連動性」の評価が下がります。但し、「平安三」の結び立ちから前蹴りを出し騎馬立ちに移動する箇所は該当しない。

※バランスを崩した場合、「下半身の安定と運足」の評価が下がります。

②技を極める瞬間の基本項目評価（減点法） ※個人戦のみ

下記項目におけるケアレミスは-1、大きなミスや複数回続いたミスは-2の減点が与えられる。

3項目の合計で最大12ポイントが減点される。

評価項目	減点	備考
手技の正確性	0～6	正拳/裏拳/手刀等手技の正確性・決め位置・引き手・脇の締め・予備動作（無駄な動き）の有無
足技の正確性	0～2	足刀/中足/背足等足技の正確性・軌道・決め位置・蹴り足の着地時のコントロール（音を立てない）
立ち方/安定性	0～4	前屈/後屈/騎馬等立ち方の正確性・足先の角度・正確な方向・安定性、バランスを崩していないか（上体の反り・前傾・重心の位置）

③個人戦・団体戦における獲得ポイント同点の場合、下記項目順に点数を比較、高得点者の方を勝者とする。

1. 協調性(団体戦)	2. 雄大さ	3. 気迫・気合	4. 柔軟性・連動性	5. 下半身の安定・運足	6. 技の緩急
-------------	--------	----------	------------	--------------	---------

④旗判定基準 「協調性(団体戦のみ)」、「雄大さ」、「気迫・気合」、「柔軟性・連動性」を優先し、同等であれば「下半身の安定・運足」、次いで「技の緩急」で比較する。

### 8. 失格

①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合失格となります。 ②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

③申告した型と異なる型を演技した時。演技を途中で中断した時。演技中に場外に出たとき。

### 9. その他

①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象としません。

②判定に対する抗議は一切認めません。